

第7回 日本血液学会東海地方会

プログラム・抄録集

- 会 期 平成30年4月28日（土） 9時30分～18時00分
- 会 場 愛知県産業労働センター（ウインクあいち）5F
小ホール2
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38
- 会 長 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター長
堀部 敬三

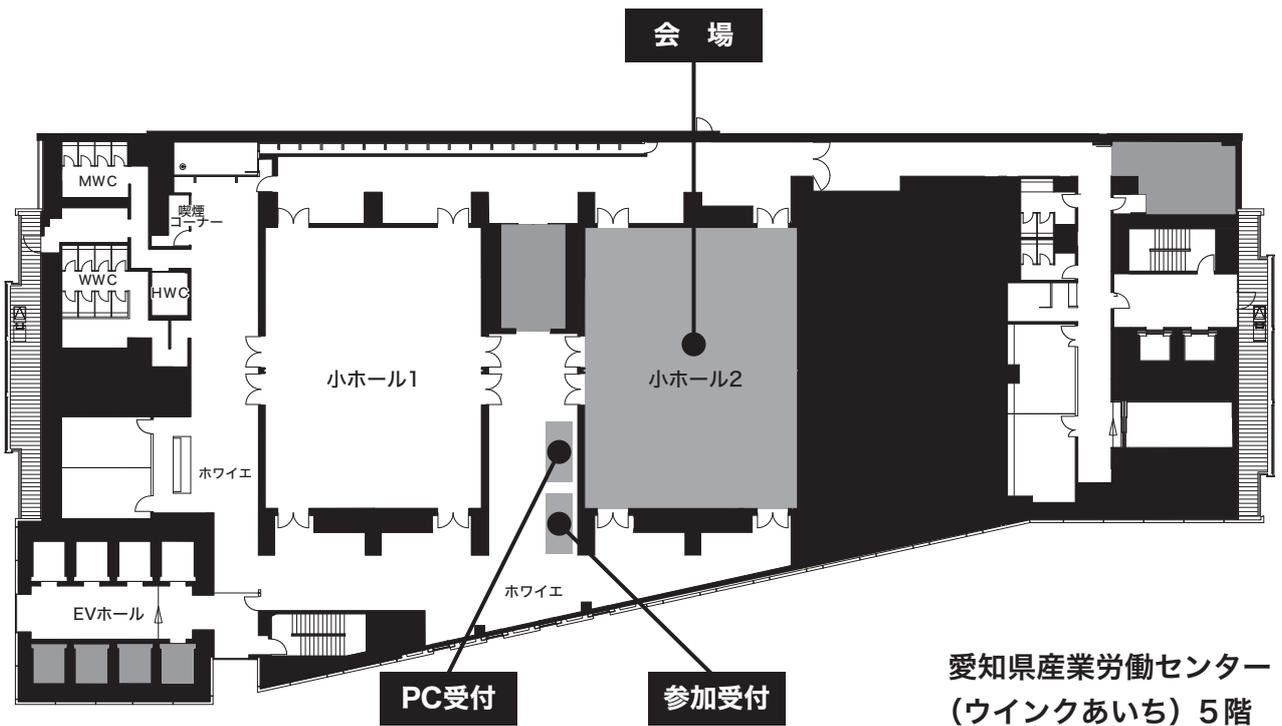
交通のご案内

会場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）5階 小ホール2
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38

会場周辺図 名古屋駅より徒歩5分



会場のご案内



日程表

9:00	受付開始 (17:00頃まで)
9:30	開会の辞
	<p>一般演題セッション1 座長：梶口 智弘 (公立陶生病院 血液・腫瘍内科)</p> <p>一般演題セッション2 座長：濱 麻人 (名古屋第一赤十字病院 小児科)</p> <p>一般演題セッション3 座長：玉木 茂久 (伊勢赤十字病院 血液内科)</p> <p>一般演題セッション4 座長：平賀 潤二 (愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院 血液内科)</p>
11:54	休憩
12:10	<p>ランチョンセミナー</p> <p>座長：徳永 隆之 (国立病院機構名古屋医療センター 血液内科)</p> <p>B細胞リンパ腫の標準治療と今後の展望</p> <p>演者：丸山 大 (国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科)</p> <p>共催：中外製薬株式会社</p>
13:00	休憩
13:15	<p>特別企画「血液領域で活躍する女性医師」</p> <p>座長：清井 仁 (名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学)</p> <p>講演1. 上善如水～しなやかに粘り強く～</p> <p>演者：杉本 由香 (三重大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科/ 臨床研修・キャリア支援センター)</p> <p>講演2. 女性であったためにあきらめたことがあったか？</p> <p>演者：小島 由美 (名古屋掖済会病院 血液内科)</p> <p>講演3. 子どもの未来を守る医療</p> <p>演者：吉田 奈央 (名古屋第一赤十字病院 小児医療センター 血液腫瘍科)</p>
14:00	<p>一般演題セッション5 座長：北川 順一 (岐阜大学医学部附属病院 血液内科)</p> <p>一般演題セッション6 座長：富田 章裕 (藤田保健衛生大学 血液内科学)</p> <p>一般演題セッション7 座長：坂口 公祥 (浜松医科大学医学部附属病院 小児科)</p>
15:57	休憩
16:10	<p>コーポレートセミナーⅠ</p> <p>座長：飯田 真介 (名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学)</p> <p>講演1. 多発性骨髄腫におけるゲノム異常</p> <p>演者：花村 一郎 (愛知医科大学病院 血液内科)</p> <p>講演2. 継続治療を基本としたMM治療戦略～Plateauを念頭においたアプローチ～</p> <p>演者：太田 健介 (大阪府済生会中津病院 血液内科)</p> <p>共催：武田薬品工業株式会社</p>
17:00	休憩
17:10	<p>コーポレートセミナーⅡ</p> <p>座長：高橋 義行 (名古屋大学大学院医学系研究科 小児科学)</p> <p>低リスクMDSの鑑別診断と治療戦略</p> <p>演者：山崎 宏人 (金沢大学附属病院 輸血部)</p> <p>共催：日本新薬株式会社</p>
18:00	閉会の辞

お知らせ・お願い

参加費（2,000円）のご案内

参加費と引き換えにネームカード（兼領収証）と抄録集をお渡しいたします。
新研修医制度における初期研修医、非医師の大学院生、学部学生、留学生は参加費が無料です。
参加費免除申請書（東海地方会HPからダウンロード）を当日、参加受付にお持ちください。

情報交換会のご案内

18:10～19:40 901会議室
情報交換会費は1,000円です。
ご参加いただける方は、当日、参加受付にてお支払いください。

日本血液学会専門医更新単位について

本学会出席での取得数は3単位です。
※血液専門医カードによる登録
会場にて登録受付されたデータは、自動的に「血液専門医単位登録システム」にアップされます。
※血液専門医カードを持参されなかった場合
「血液専門医単位登録システム」より参加証の画像（PDFデータ等）をシステムにアップロード
いただくことで登録可能です。

日本小児血液・がん学会専門医制度資格認定もしくは更新単位について

本学会出席での取得数は4単位です。

駐車場ののご案内

会場に有料駐車場はございますが、台数に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

幹事会

10:00～11:00 901会議室

評議員会

12:10～12:50 901会議室

発表要領

ご発表について

1. データ受けは午前9：00から小ホール2脇のPC受付で可能です。
ご発表の30分前までには必ず動作確認をお願いいたします。
2. Windows機によるPCでのご発表のみとさせていただきます。
3. ご発表は、演台のキーボード・マウスを使ってご自身で操作してください。
4. PC本体の持込みもデータ持込も可能ですが、データでのお持込の場合はUSBフラッシュメモリをお願いいたします。
5. スクリーンサイズは4：3です。
6. 一般演題は、口演6分 質疑3分 の計9分です。
7. スライド枚数に制限はございません。但し発表時間は厳守してください。

データ作成上の留意点

1. 利益相反の自己申告が必要となります。
日本血液学会ホームページhttp://www.jshem.or.jp/modules/about/index.php?content_id=4の【利益相反の各様式】の【開示スライド例】を参照いただき、ご発表スライドの1枚目または2枚目に入れてください。
2. アプリケーションは、Power Point 2010/2013/2016に対応しております。
3. フォントはPower Pointに標準搭載されているフォントをご使用ください。
4. Power Pointにて作成したデータのファイル名は「演題番号 氏名」で保存してください。
5. 動画・音声がある場合には、PCのお持込みを推奨します。
6. 動画ソフトはWindowsMediaPlayerです。
7. Macintoshで作成された場合は、必ずPCでお持込みください。
8. Macintoshの動画ソフトはQuickTimePlayerです。

PC 持込みによる留意点

1. 電源アダプターは必ずご持参ください。
2. 液晶プロジェクターとの接続はミニDsub15ピンとなりますので、ご確認のうえ必要があれば変換アダプターをご持参ください。
3. スクリーンセーバーや省電力機能の設定は解除は必ずお願いします。
4. 発表者ツールの使用はできませんのでご了承ください。

プログラム

一般演題セッション 1

9:30 ~ 10:06

座長：公立陶生病院 血液・腫瘍内科 梶口 智弘

- 1. 無治療経過観察中に急性転化し dasatinib が著効した慢性骨髄性白血病 (CML) の一例**
名古屋掖済会病院 血液内科
○小川 磨育子, 家田 美保, 黒川 貴司, 小島 由美
- 2. 発症後早期に T315I 変異を伴い骨髄系急性転化を来した慢性骨髄性白血病に対するボナチニブの使用経験**
名古屋第二赤十字病院 血液・腫瘍内科
○吉山 聡一, 小川 実加, 齊藤 繁紀, 小林 美希, 笠井 雅信, 内田 俊樹
- 3. Hydroxyurea の投与により出血傾向が改善した慢性好中球性白血病 (CNL) の一例**
名古屋掖済会病院 血液内科
○黒川 貴司, 小川 磨育子, 家田 美保, 小島 由美
- 4. 骨髄異形成症候群 / 骨髄増殖性疾患 (MDS/MPN) 関連血管炎に対してルキソリチニブが有効であった一例**
名古屋第一赤十字病院 血液内科
○大引 真理恵, 森下 喬允, 李 尹河, 尾崎 正英, 吉野 実世, 新家 裕朗, 池野 世新, 佐藤 貴彦, 小澤 幸泰, 宮村 耕一

一般演題セッション 2

10:06 ~ 10:42

座長：名古屋第一赤十字病院 小児科 濱 麻人

- 5. メトトレキサート (MTX) 髄腔内投与後に亜急性脳症をきたした急性混合性白血病の一例**
名古屋市立大学病院 血液・腫瘍内科
○丸茂 義晃, 楠本 茂, 吉田 嵩, 成田 朋子, 伊藤 旭, 李 政樹, 小松 弘和, 飯田 真介
- 6. 重症感染症およびその軽快とともに、自然寛解が得られた急性骨髄性白血病の一例**
陶生病院 血液腫瘍内科
○岩田 哲, 早川 浩史, 宮尾 康太郎, 梶口 智弘
- 7. 寛解導入療法後の敗血症性ショックに対して顆粒球輸血を行った小児急性骨髄単球性白血病の 1 例**
¹浜松医科大学医学部附属病院 小児科, ²浜松医科大学医学部附属病院 輸血細胞治療部
○小松 和幸¹, 坂口 公祥¹, 清水 大輔¹, 竹下 明裕²

8. ALK陽性肺癌に対してアレクチニブ投与中に2次性急性骨髄性白血病（AML）を発症した一例

¹愛知県がんセンター中央病院 血液・細胞療法部, ²愛知県がんセンター中央病院 呼吸器内科部

○古川 勝也¹, 小島 勇貴¹, 入山 智沙子¹, 加藤 春美¹, 田地 浩史¹, 堀尾 芳嗣², 山本 一仁¹

一般演題セッション 3

10:42～11:18

座長：伊勢赤十字病院 血液内科 玉木 茂久

9. 血漿交換，リツキシマブ施行も救命し得なかった難治性妊娠合併血栓性血小板減少性紫斑病の1例

¹岐阜大学医学部附属病院 血液内科, ²岐阜市民病院 血液内科

○金田 裕人¹, 山口 公大², 松本 拓郎¹, 中村 信彦¹, 中村 博¹, 二宮 空暢¹, 北川 順一¹, 笠原 千嗣², 原 武志¹, 鶴見 寿¹

10. 小児難治性特発性血小板減少性紫斑病に対するエルトロンボパグの使用経験

名古屋第一赤十字病院 小児医療センター 血液腫瘍科

○前村 遼, 山森 彩子, 若松 学, 坂口 大俊, 吉田 奈央, 加藤 剛二

11. トロンボポエチン受容体作動薬により血小板増加が得られたX連鎖性血小板減少症例

¹静岡県立こども病院 血液腫瘍科, ²東北大学大学院 小児病態学分野

○川口 晃司¹, 卜部 馨介¹, 高橋 郁子¹, 小倉 妙美¹, 堀越 泰雄¹, 笹原 洋二², 渡邊 健一郎¹

12. 後天性血友病Aの背景にある低悪性度リンパ腫に対し，リツキシマブ単剤投与を行いステロイドを離脱した一例

愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院 血液・腫瘍内科

○鶴飼 俊, 佐合 健, 安達 慶高, 福島 庸晃, 尾関 和貴, 河野 彰夫

一般演題セッション 4

11:18～11:54

座長：愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院 血液内科 平賀 潤二

13. 当院治療中のホジキンリンパ腫の2男児例

¹名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野, ²名古屋第二赤十字病院 小児科

○山形 誠也¹, 吉田 悟¹, 亀井 美智¹, 齋藤 伸治¹, 石井 睦夫²

14. 脾臓原発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫にて発症したsarcoidosis-lymphoma syndromeの一例

浜松医科大学 内科学第三講座 血液内科

○中野 洸太郎, 内山 哲, 道丹 哲志, 一戸 宏哉, 高羽 理光, 安達 美和, 永田 泰之, 柳生 友浩, 小野 孝明

15. 当施設におけるALアミロイドーシス症例の後方視的検討

¹名古屋大学附属病院 血液腫瘍内科, ²名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学

○川口 佳乃¹, 牛島 洋子¹, 山本 秀行², 足立 佳也¹, 後藤 辰徳¹, 島田 和之², 石川 裕一², 寺倉 精太郎², 西田 徹也², 清井 仁²

16. 骨髄癌腫症を契機に診断された乳腺原発浸潤性小葉癌

¹愛知医科大学病院 血液内科, ²愛知医科大学病院 病理診断科

○松村 沙織¹, 中村 文乃¹, 金杉 丈¹, 高杉 壮一¹, 後藤 峰明¹, 山本 英督¹, 渡会 雅也¹,
花村 一郎¹, 都築 豊徳², 高見 昭良¹

ランチョンセミナー

12:10～13:00

座長：国立病院機構名古屋医療センター 血液内科 徳永 隆之

B細胞リンパ腫の標準治療と今後の展望

演者：丸山 大（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）

共催：中外製薬株式会社

特別企画 「血液領域で活躍する女性医師」

13:15～14:00

座長：名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 清井 仁

講演1. 上善如水～しなやかに粘り強く～

演者：杉本 由香（三重大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科／臨床研修・キャリア支援センター）

講演2. 女性であったためにあきらめたことがあったか？

演者：小島 由美（名古屋掖済会病院 血液内科）

講演3. 子どもの未来を守る医療

演者：吉田 奈央（名古屋第一赤十字病院 小児医療センター 血液腫瘍科）

一般演題セッション5

14:00～14:36

座長：岐阜大学医学部附属病院 血液内科 北川 順一

17. 表面抗原CD20陰性の節性辺縁帯リンパ腫に対してリツキシマブの有効性が確認された一例

¹豊田厚生病院 血液内科, ²豊田厚生病院 病理診断科

○鈴木 奈瑠子¹, 平賀 潤二¹, 高木 雄介¹, 成田 道彦², 鏡味 良豊¹

18. CD20陰性転化表現形で病勢進行を示した初回治療抵抗性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の1例

¹藤田保健衛生大学医学部 血液内科学, ²藤田保健衛生大学病院 臨床研修センター,

³藤田保健衛生大学病院 病理診断科

○伊藤 綾香², 富田 章裕¹, 岡本 晃直¹, 稲熊 容子¹, 岡部 麻子³, 浦野 誠³, 黒田 誠³,
赤塚 美樹¹, 岡本 昌隆¹, 恵美 宣彦¹

19. 当院における血管内大細胞型B細胞性リンパ腫の臨床像の検討

¹公立陶生病院 小児科, ²公立陶生病院 血液内科

○奥野 達矢¹, 梶口 智弘², 宮尾 康太郎², 早川 浩史², 岩田 哲²

20. IgH/c-myc 転座を認めた慢性リンパ球性白血病

¹伊勢赤十字病院 血液内科, ²三重大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科

○和泉 拓野¹, 永春 圭規^{1,2}, 岡 弘毅¹, 臼井 英治¹, 玉木 茂久¹

一般演題セッション 6

14:36 ~ 15:12

座長：藤田保健衛生大学 血液内科学 富田 章裕

21. 再発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 (DLBCL) に対して大量化学療法後に重症低Na血症を来した1例

¹豊田厚生病院 血液内科, ²豊田厚生病院 病理診断科

○伊藤 亮太^{1,2}, 平賀 潤二¹, 鈴木 奈瑠子¹, 高木 雄介¹, 成田 道彦², 鏡味 良豊¹

22. 自家造血幹細胞移植併用大量化学療法中に意識障害を呈し, 抗利尿ホルモン分泌異常症の合併が疑われた1例

名古屋医療センター 血液内科

○平野 志帆, 徳永 隆之, 岡本 修一, 下地 園子, 宮田 泰彦, 國富 あかね, 永井 宏和,
飯田 浩充

23. 芽球形質細胞様樹状細胞腫瘍に対して, 大量化学療法併用自家末梢血幹細胞移植を施行した一例.

大垣市民病院 血液内科

○藤原 慎二

24. 原発性骨髄線維症に対する同種造血幹細胞移植の経験

三重大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科

○山口 智弘, 藤枝 敦史, 南 博仁, 伊野 和子, 俵 功, 榊屋 正浩, 片山 直之

一般演題セッション 7

15:12 ~ 15:57

座長：浜松医科大学医学部附属病院 小児科 坂口 公祥

25. 早期T前駆細胞性リンパ芽球性白血病 (Early T-precursor ALL) の1例

¹県立多治見病院 血液内科, ²県立多治見病院 研修医

○夫馬 裕太², 岩井 雅則¹, 鈴木 康裕¹, 山家 佑介¹

26. 気道狭窄に対しステントを留置して治療を行ったT細胞性リンパ芽球性リンパ腫の2例

¹国立病院機構名古屋医療センター 小児科, ²国立病院機構名古屋医療センター 呼吸器科

○山家 豊¹, 服部 浩佳¹, 秋田 直洋¹, 関水 匡大¹, 市川 瑞穂¹, 前田 尚子¹, 沖 昌英²,
坂 英雄², 堀部 敬三¹

27. 小児再発難治性急性リンパ性白血病におけるクロファラビンの有効性について

名古屋第一赤十字病院 小児医療センター血液腫瘍科

○山森 彩子, 前村 遼, 若松 学, 坂口 大俊, 吉田 奈央, 加藤 剛二

28. 再発時にIntrachromosomal amplification of chromosome 21 (iAMP21)を認めたALLの1例

¹三重大学医学部附属病院 小児科, ²伊勢赤十字病院 血液内科

○坪谷 尚季¹, 天野 敬史郎¹, 間宮 範人¹, 平山 淳也¹, 豊田 秀実¹, 岩本 彰太郎¹,
出口 隆生¹, 白井 英治², 玉木 茂久², 堀 浩樹¹, 平山 雅浩¹

29. 同種骨髄移植6か月後に再発しCD19-CAR-T療法により1年6か月寛解が得られているMLL-AF4乳児白血病

¹名古屋大学医学部附属病院 小児科, ²名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター

○西尾 信博^{1,2}, 片岡 伸介¹, 濱田 太立¹, 川島 希¹, 西川 英里¹, 奥野 友介^{1,2}, 成田 敦¹,
村松 秀城¹, 濱 麻人¹, 小島 勢二¹, 高橋 義行¹

コーポレートセミナー I

16:10～17:00

座長：名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 飯田 真介

講演1. 多発性骨髄腫におけるゲノム異常

演者：花村 一郎（愛知医科大学病院 血液内科）

講演2. 継続治療を基本としたMM治療戦略～Plateauを念頭においたアプローチ～

演者：太田 健介（大阪府済生会中津病院 血液内科）

共催：武田薬品工業株式会社

コーポレートセミナー II

17:10～18:00

座長：名古屋大学大学院医学系研究科 小児科学 高橋 義行

低リスクMDSの鑑別診断と治療戦略

演者：山崎 宏人（金沢大学附属病院 輸血部）

共催：日本新薬株式会社